

18. 厳しい時代を生き抜く創造の力を子どもたちに

グループ名 日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団

代表者 福留 和弘

① 活動の目的

感動こそ人生を変える（センス・オブ・ワンダー）の考えのもと、「①科学（サイエンス）する心を養い、②何事にも挑戦（チャレンジ）し、③友情の輪（フレンドシップ）を広げる」の3つの取り組みを行い、集団生活での規律や役割、困難なことにも挑戦し耐える心を学ばせ、次代を担う子どもたちに、厳しい時代を生き抜く創造の力を醸成する。

② 活動概要

企画名 ; 宇宙のまちキャンプ2018～本物の感動がここにある！～

期 日 ; 2018年7月24日（火）～31日（火）8日間

参加対象 ; 全国の小学校4年生から高校生まで

参加者数 ; 97人（小学生86人、中学生11人）

都道府県別 北海道1人 栃木1人 埼玉6人 東京17人 千葉3人 神奈川5人
静岡1人 岐阜4人 愛知10人 三重1人 奈良1人 京都4人
大阪1人 兵庫1人 島根1人 広島2人 香川3人 福岡2人
佐賀2人 宮崎1人 鹿児島29人 沖縄1人

活動内容

① 九州最高峰「屋久島・宮之浦岳」登山

九州最高峰「宮之浦岳」1936mを淀川登山口から頂上を目指したが、天候と帰りが暗くなると判断し、山頂まで2.6km手前の投げ石平で引き返した。山頂への登頂は断念したが、参加者は、屋久島の自然にふれながら、往復約11kmの山道を、班ごとに励まし合いながら歩くことにより、忍耐力を醸成し、班の仲間との友情の輪を広げることができた。

② 農業体験など

日本一早いコシヒカリの産地である南種子町の超早場米の稲刈り体験を行うことにより、食べ物の大切さや働くことの意義を学んだ。また、リバーカヤック体験、水ロケット製作・大会などを通し、科学する心を学んだ。

③ 集団生活体験

すべての朝、昼、夕食の準備、薪での風呂（五右衛門風呂）の準備など、朝起きてから寝るまでの基本的な生活の中から、集団生活の規律を学んだ。また、異年齢集団の中で、朝の集い、夕べの集いや多くの体験活動を通して、自分の役割を認識し、全員でやり遂げる達成感を体験することができた。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	1 0 0, 0 0 0 円
支 出	屋久島キャンプ場使用料	1 1 2, 0 7 0 円
	小中 97 人×330 円×2 泊 (入村料)	
	テント 10 張×2 日×220 円	
	シャワー97 人×3 回×150 円	
	保険料	1 4, 4 1 0 円
	屋久島へ (フェリー屋久島運賃)	7 0, 2 0 0 円
	小 650 円×86 人+中 11 人 1,300 円	
	屋久島から種子島へ高速船代 (台風のため)	2 1 1, 8 2 0 円
	小 2,000 円×86 人+中 11 人×3,620 円	
	南種子町自然の家シートクリーニング代 (300 円×98 人×1.08)	3 1, 7 5 2 円
	合 計	4 4 0, 2 5 2 円

■入所式



■班の旗作成



■班別活動



■ ウェルカムパーティ



■ タベの集い

■ 稲刈り体験



■ 種子島宇宙センター見学

■ 水ロケット製作



■ 水ロケット大会

■ 朝の集い



■リバーカヤック体験



■海水浴体験



■H-2B ロケット 7 号機陸揚げ作業見学



■宮之浦岳登山「投げ石平」で記念撮影



■屋久杉箸づくり体験 ■退所式

